

作成日 2023 年 8 月 10 日

# 安全データシート

## 1. 製品及び会社情報

製品の名称 : チチブファンデーションコート【Fコート】・ベース（混和液）  
会社名 : 秩父コンクリート工業株式会社  
住所 : 東京都台東区上野 7-7-6  
担当部門 : 営業本部  
電話 : 03-3844-5062  
FAX : 03-3844-5087  
緊急連絡先 : 品質保証部 048-521-2790  
推奨用途 : セメントモルタル混和用  
使用上の制限 : 推奨用途以外への使用は禁止する。

## 2. 危険有害性の要約

### 化学品の GHS 分類

#### 健康に対する有害性

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分 2  
生殖細胞変異原性 区分 2  
特定標的臓器毒性（反復ばく露） 区分 2  
水性環境有害性 短期（急性） 区分 3

※上記で記載がない危険有害性は、分類できないか区分に該当しない。

### GHS ラベル要素

#### 絵表示又はシンボル



#### 注意喚起語

#### 危険有害性情報

#### 警告

強い眼刺激

遺伝性疾患のおそれの疑い

長期にわたる、又は反復ばく露による臓器（皮膚）の障害のおそれ

水生生物に有害

#### 注意書き

##### 《安全対策》

使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

取扱い後は手や顔をよく洗うこと。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

環境への放出を避けること。

##### 《応急措置》

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用して  
いて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。

ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察/手当てを受けること。

気分が悪い時は、医師の診察/手当てを受けること。

##### 《保管》

施錠して保管すること。

凍結（0℃以下）や高温（40℃以上）は避け、屋内で保管すること。

##### 《廃棄》

内容物/容器を、産業廃棄物処理免許を持つ処理業者に委託して廃棄すること。

残液や洗浄水は絶対に河川に流さないこと。

残滓は産業廃棄物として適切に処理すること。

### GHS 分類に関係しない又は GHS で扱われない他の危険有害性

本品は研究開発段階の物質であり、危険有害性に関する知見が得られていないので、取扱いに関しては十分に注意すること。

### 重要な徴候及び想定される非常事態の概要

有害性に関する知見は十分に得られていないので、取扱いに注意すること。

### 3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物  
 化学名又は一般名 : アクリル系共重合体  
 成分及び濃度又は濃度範囲

成分	含有量 (代表値) (%)	化審法	安衛法		化管法	毒劇法	CAS 番号
		官報公示 整理番号	官報公示 整理番号	通知対象物	指定化学 物質	毒物劇物	
アクリル系共重合体	40~50	既存扱い	既存扱い	非該当	非該当	非該当	未登録
水	50~60	対象外	既存化学 物質	非該当	非該当	非該当	7732-18-5
ポリオキシエチレン アルキルエーテル	1~3 (2.3)	7-97	公表	非該当	第1種 -407	非該当	登録済
成分 A	0.1~0.5	既存化学 物質	公表	非該当	規制濃度 以下	非該当	登録済
成分 B	0.1~0.19	既存化学 物質	公表	規制濃度 以下	非該当	規制濃度 以下	登録済
成分 C	0.01~0.19	既存化学 物質	公表	非該当	非該当	非該当	登録済
成分 D	2~4	既存化学 物質	公表	非該当	非該当	非該当	登録済
成分 E (鉍油含有)	0.1~1.5	既存化学 物質	公表	通知対象 物-168 (鉍油)	非該当	非該当	登録済

### 4. 応急措置

吸入した場合

- ・ 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・ 直ちに医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

- ・ 直ちに付着物を布等で素早く拭き取ること。
- ・ 多量の水と石鹸で洗うこと。
- ・ 皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水（又はシャワー）で洗うこと。
- ・ 直ちに医師に連絡すること。

眼に入った場合

- ・ 清浄な水で少なくとも数分間（望ましくは 15 分以上）洗眼（可能であればコンタクトレンズを外して）した後、直ちに眼科医の手当てを受けること。洗眼の際、瞼を指でよく開いて、眼球、瞼のすみずみまで水がよく行き渡るように洗うこと。

飲み込んだ場合

- ・ 医師の指示がない限り、吐かせてはならない。意識のない人に口からものを与えてはならない。直ちに医師の手当てを受けること。

### 5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 水が無くなりポリマー成分が燃焼した場合、粉末消火薬剤、水溶性液体用泡（耐アルコール泡）消火薬剤、二酸化炭素、砂、霧状水が有効である。

使ってはならない消火剤 : 知見なし

火災時の特有の危険有害性 : 火災時には、有毒ガス（一酸化炭素等）が発生するおそれがある。

特有の消火方法 : 火災の風上に立つこと。防火服および空気呼吸器等の装備を着用すること。  
 放水により収納設備を冷却すること。  
 適切な距離から注意して消火すること。

消火活動を行う者の特別な : 消火作業では、適切な保護具を着用すること。

保護具及び予防措置

### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- ・ 8.項で推奨する保護具を着用すること。汚染領域から退避させ、必要な場合以外および保護具を着用していない人員の立ち入りを防止すること。

環境に対する注意事項

- ・下水又は水路への漏出をさせないこと。
- ・土のう、土砂などで囲み、シートで覆い、(臭気の) 拡散防止に努めること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

- ・不活性な物質（例：乾燥砂、土）に吸収させて、廃棄用容器に回収する。大量の場合、先ず土砂等でその流出を止めてから回収すること。

二次災害の防止策

- ・滑りやすくスリップ事故の原因となる為、濡れた状態で放置しないこと。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 容器を転倒、落下させ、衝撃を加え、または引きずる等の粗取な取扱いはしないこと。
- 局所排気・全体換気 : 適切に換気し保護具を着用し取り扱うこと。
- 安全取扱注意事項 : 粉じんまたは蒸気の吸入を避けること。
- 接触回避 : 10.項記載の安定性及び反応性の情報を参照すること。
- 衛生対策 : 取扱い時には、必ず適切な保護具（8.項参照）を着用すること。  
取扱い後は手を洗うこと。

保管

- 安全な保管条件 : 容器は直射日光を避けて保管すること。  
火気・ボイラー等の熱源付近には置かないこと。  
冬季は凍結させないように、0℃以上の屋内に保管すること。
- 安全な容器包装材料 : 密閉性の容器に保管すること。  
内面コートされた金属容器及びプラスチック容器。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度等

管理濃度及び許容濃度

成分	厚生労働省（安衛法）	日本産業衛生学会	ACGIH	
	管理濃度	許容濃度	TLV-TWA	TLV-STEL
アクリル系共重合体	設定されていない	設定されていない	設定されていない	設定されていない
水	設定されていない	設定されていない	設定されていない	設定されていない
ポリオキシエチレンアルキルエーテル	設定されていない	設定されていない	設定されていない	設定されていない
成分 A	設定されていない	設定されていない	設定されていない	設定されていない
成分 B	設定されていない	2mg/m <sup>3</sup> 最大許容濃度	設定されていない	2mg/m <sup>3</sup> Ceiling
成分 C	設定されていない	設定されていない	設定されていない	設定されていない
成分 D	設定されていない	設定されていない	設定されていない	設定されていない
成分 E（鉱油含有）	設定されていない	3mg/m <sup>3</sup> （鉱油ミスト）	5mg/m <sup>3</sup> （鉱油）	設定されていない

- 設備対策 : 取扱い場所の近くに、眼の洗浄および身体洗浄のための設備を設置すること。

保護具

- 呼吸用保護具 : 保護マスク  
保護マスクは、日本産業規格(JIS T8152)に適合した、作業に適した性能及び構造のものを選ぶ。その際、取扱説明書等に記載されているデータを参考にする。
- 手の保護具 : 保護手袋
- 眼、顔面の保護具 : 保護眼鏡、ゴーグル、防災面
- 皮膚及び身体の保護具 : 保護衣、保護靴

9. 物理的及び化学的性質

- 物理状態 : 液体
- 色 : 乳白色
- 臭い : 微アクリル酸エステル臭

融点/凝固点	: 約 0°C
沸点又は初留点及び沸騰範囲	: 約 100°C
可燃性	: データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	: データなし
引火点	: なし
自然発火点	: なし
分解温度	: データなし
pH	: 6.0~9.0 (23°C)
粘度	: 10~300 mPa·s
動粘性率	: データなし
溶解度	: 水に無限大に希釈可能
n-オクタノール/水分配係数	: データなし
蒸気圧	: データなし
密度及び/又は相対密度	: データなし
相対ガス密度	: データなし
粒子特性	: データなし

## 10. 安定性及び反応性

反応性	: 知見なし
化学的安定性	: 通常の取扱いにおいては安定である。
危険有害反応可能性	: 通常の取扱い条件では安定である。
避けるべき条件	: 40°Cを超える温度での保管は避ける。 保管時の凍結に注意する。
混触危険物質	: 通常の取扱い条件では安定である。
危険有害な分解生成物	: 有害性分解生成物はない。

## 11. 有害性情報

### [化学品]

急性毒性 (経口)	: 区分に該当しない	(化学品の実験データはない)
急性毒性 (経皮)	: 分類できない	(化学品の実験データはない)
急性毒性 (吸入)	: 分類できない (気体)	(化学品の実験データはない)
	: 分類できない (蒸気)	(化学品の実験データはない)
	: 分類できない (粉じん、ミスト)	(化学品の実験データはない)
皮膚腐食性/刺激性	: 分類できない	(化学品の実験データはない)
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 区分 2	(化学品の実験データはない)
呼吸器感作性又は皮膚感作性		
呼吸器感作性	: 分類できない	(化学品の実験データはない)
皮膚感作性	: 分類できない	(化学品の実験データはない)
生殖細胞変異原性	: 区分 2	(化学品の実験データはない)
発がん性	: 分類できない	(化学品の実験データはない)
生殖毒性	: 分類できない	(化学品の実験データはない)
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	: 分類できない	(化学品の実験データはない)
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	: 区分 2 (皮膚)	(化学品の実験データはない)
誤えん有害性	: 分類できない	(化学品の実験データはない)

### [成分]

#### アクリル系共重合体

急性毒性 (経口)	: 区分に該当しない LD50 (ラット) >2,000mg/kg (類似品のデータ)
急性毒性 (経皮)	: 区分に該当しない LD50 (ラット) >2,000mg/kg (類似品のデータ)

<u>水</u>	: 区分に該当しない データなし
----------	---------------------

#### ポリオキシエチレンアルキルエーテル

急性毒性 (経口)	: 区分に該当しない LD50 (ラット) >2,000mg/kg (類似品のデータ)
-----------	------------------------------------------------

皮膚腐食性/刺激性	: 区分に該当しない 刺激性なし (ウサギ) (類似品のデータ)
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 区分 2A 中程度 (ウサギ) (類似品のデータ)
皮膚感作性	: 区分に該当しない 区分に該当しないは、原料メーカーSDS の分類による。
生殖細胞変異原性	: 区分に該当しない 区分に該当しないは、原料メーカーSDS の分類による。
発がん性	: 区分に該当しない 区分に該当しないは、原料メーカーSDS の分類による。

#### 成分 A

急性毒性 (経口)	: 区分に該当しない LD50 (ラット) >2,000mg/kg
急性毒性 (経皮)	: 区分に該当しない 区分に該当しないは、原料メーカーSDS の分類による。
急性毒性 (吸入)	: 区分に該当しない 区分に該当しないは、原料メーカーSDS の分類による。
皮膚腐食性/刺激性	: 区分 2 区分 2 は、原料メーカーSDS の分類による。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 区分 1 腐食性あり (ウサギ)
生殖細胞変異原性	: 分類できない AMES 試験: 陰性
生殖毒性	: 区分に該当しない 区分に該当しないは、原料メーカーSDS の分類による。

#### 成分 B

急性毒性 (経口)	: 区分 3 LD50 : 273~365 mg/kg (ラット) LD50 : 284 mg/kg (ラット)
皮膚腐食性/刺激性	: 区分 1 区分 1 は、NITE GHS(2017 年)の分類による。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 区分 1 区分 1 は、NITE GHS(2017 年)の分類による。
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	: 区分 1 (呼吸器) 区分 1 (呼吸器) は、NITE GHS(2017 年)の分類による。
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	: 区分 1 (呼吸器) 区分 1 (呼吸器) は、NITE GHS(2017 年)の分類による。
誤えん有害性	: 区分 1 区分 1 は、NITE GHS(2017 年)の分類による。

#### 成分 C

急性毒性 (経口)	: 区分 4 区分 4 は、原料メーカーSDS の分類による。
皮膚腐食性/刺激性	: 区分 1A 区分 1A は、原料メーカーSDS の分類による。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 区分 1 区分 1 は、原料メーカーSDS の分類による。
皮膚感作性	: 区分 1 区分 1 は、原料メーカーSDS の分類による。

#### 成分 D

急性毒性 (経口)	: 区分に該当しない LD50 (ラット) : 6,500mg/kg
急性毒性 (経皮)	: 区分に該当しない LD50 (ウサギ) : 14,500mg/kg

- 急性毒性（吸入）：区分に該当しない（粉じん、ミスト）  
 区分に該当しない（粉じん、ミスト）は、原料メーカーSDS の分類による。
- 皮膚腐食性/刺激性：区分に該当しない  
 区分に該当しないは、原料メーカーSDS の分類による。
- 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：区分 2A  
 区分 2A は、原料メーカーSDS の分類による。

成分 E（鉱油含有）

- 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：区分 2B  
 区分 2B は、原料メーカーSDS の分類による。
- 生殖細胞変異原性：区分 2  
 区分 2 は、原料メーカーSDS の分類による。
- 特定標的臓器毒性（反復ばく露）：区分 1（皮膚）  
 区分 1（皮膚）は、原料メーカーSDS の分類による。

**12. 環境影響情報**

[化学品]

生態毒性

- 水生環境有害性 短期（急性）：区分 3  
 魚類；化学品の実験データはない  
 甲殻類；化学品の実験データはない  
 藻類等；化学品の実験データはない
- 水生環境有害性 長期（慢性）：分類できない  
 魚類；化学品の実験データはない  
 甲殻類；化学品の実験データはない  
 藻類等；化学品の実験データはない
- 残留性・分解性：化学品の実験データはない
- 生体蓄積性：化学品の実験データはない
- 土壌中の移動性：化学品の実験データはない
- オゾン層への有害性：分類できない（化学品の実験データはない）

[成分]

アクリル系共重合体

分類できない  
 データなし

水

区分に該当しない  
 データなし

ポリオキシエチレンアルキルエーテル

生態毒性

- 水生環境有害性 短期（急性）：区分 2  
 魚類； LC50（48hr）：82mg/L（メダカ）

成分 A

生態毒性

- 水生環境有害性 短期（急性）：区分に該当しない  
 魚類； LC50（48hr）：107～143mg/L（コイ）
- 水生環境有害性 長期（慢性）：区分 3  
 区分 3 は、原料メーカーSDS の分類による。

成分 B

分類できない  
 データなし

成分 C

生態毒性

- 水生環境有害性 短期（急性）：区分 2  
 区分 2 は、原料メーカーSDS の分類による。

#### 成分 D

##### 生態毒性

水生環境有害性 短期（急性）：分類できない

魚類； LC50（96hr）：77mg/L（ファットヘッドミノー）

LC50（96hr）：50～70mg/L（ゼブラフィッシュ）

甲殻類； LC50（48hr）：665mg/L（オオミジンコ）

水生環境有害性 長期（慢性）：区分に該当しない

区分に該当しないは、原料メーカーSDS の分類による。

#### 成分 E（鉱油含有）

分類できない

データなし

### 13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

- ・廃棄物、廃水を処理する場合は焼却処理するか、一定容器に取りまとめ、産業廃棄物処理業許可証を持つ処理業者に委託し、処理すること。
- ・使用済みの容器は、残留物に他の物質を混入させたり、他の用途に使用しないこと。
- ・内容物を上記に従って処理した後、空の容器は適切な資格を持つ請負業者を通して、国/都道府県の規則に従って、リユース、リサイクル又は廃棄処分すること。
- ・残液や洗浄水は絶対に河川に流さないこと。
- ・残滓は産業廃棄物として適切に処理すること。

### 14. 輸送上の注意

#### ICAO/IATA

国連番号：危険物に該当しない

品名（国連輸送品）：危険物に該当しない

国連分類：危険物に該当しない

容器等級：危険物に該当しない

#### IMDG

国連番号：危険物に該当しない

品名（国連輸送品）：危険物に該当しない

国連分類：危険物に該当しない

容器等級：危険物に該当しない

海洋汚染物質：非該当

MARPOL73/78 付属書II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質：データなし

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策

15.項の適用法令に従い、輸送すること。

容器は転倒、落下、破損しないように積載すること。

直射日光を防ぐために、積載物に覆いをかけること。

応急措置指針番号：171

### 15. 適用法令

消防法：非該当

毒劇法：非該当

安衛法：名称等を通知すべき危険物及び有害物（成分 E（鉱油含有））

化審法：優先評価化学物質（成分 A）

化管法（PRTR 法）：第 1 種指定化学物質（ポリオキシエチレンアルキルエーテル）

労働基準法：疾病化学物質（成分 B）

水質汚濁防止法：指定物質（成分 B）

海洋汚染防止法：有害液体物質 Y 類物質（ポリオキシエチレンアルキルエーテル、成分 B、成分 D）

### 16. その他の情報

#### 引用文献

- ・一般社団法人日本化学工業協会 GHS 対応ガイドライン ラベル及び表示・安全データシート作成指針
- ・独立行政法人 製品評価技術基盤機構（NITE） GHS 分類結果データベース
- ・原材料 SDS

※ 注意

安全データシートは危険有害な化学製品について、安全な取り扱いを確保するための参考情報として、取り扱う事業者提供されるものです。取り扱う事業所は、これを参考として自らの責任において、個々の取り扱い等の実態に応じた適切な処置を講ずる事が必要である事を理解した上で、活用されるようお願いいたします。

記載した内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、以上の情報は新しい知見により、改定されることがあります。また、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものであって、特殊な取り扱いの場合には用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。本製品を使用するに当たって、提供された情報を適用するかどうかの最終的な決定は使用者の責任で行って下さい。全ての物質は、未知の危険性を呈する可能性があり、ここで示した危険性は起こり得る全ての危険性を網羅したものであるということを保証するものではありません。従って、本データそのものは、安全の保証書ではありません。

以上